

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営伊勢原峰岸団地公営住宅新築工事(1期)	階数	地上7F
建設地	伊勢原市上粕谷峰岸442番外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	147人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2023年2月27日
敷地面積	3,878 m ²	作成者	(株)タック都市開発研究所
建築面積	766.29 m ²	確認日	2023年2月27日
延床面積	4,065 m ²	確認者	(株)タック都市開発研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

環境品質 (Q) vs 環境負荷 (L)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 76%
③ 上記+②以外の: 76%
④ 上記+: 76%

目標値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 4.1
Q2 サービス性能: 2.8
Q3 室外環境(敷地内): 2.5
LR1 エネルギー: 4.4
LR2 資源・マテリアル: 2.9
LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 小田急小田原線伊勢原駅から車で8分の第一種中高層住居専用地域に、住宅単一用途の共同住宅を、RC造、7Fにて計画した。		特になし。
Q1 室内環境 断熱材は、断熱等級4を超える水準の断熱性能を満たしている。 窓面のゲリラ対策は、カーテンや底等で昼光制御している。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3相当とし、使用する配管は耐用年数の長いものを採用することで建物の長寿命化を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー BEIm=0.77、LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 小流量吐水機構の混合水栓に加えて、節水型便器も採用している。また、躯体と仕上がりが容易に分別可能である。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率: 76%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される